

加藤晃一教授が平成 23 年度日本薬学会学術振興賞を受賞

本研究室の加藤晃一教授（分子科学研究所・岡崎統合バイオサイエンスセンター兼務）が平成 23 年度日本薬学会学術振興賞を受賞しました。この日本薬学会学術振興賞は、薬学の基礎及び応用に関して各専門分野で優れた研究業績を挙げ、世界的にも注目される発展性のある研究者に対して授与される栄誉ある賞です。加藤晃一教授は、タンパク質が糖鎖修飾やユビキチン化など翻訳後修飾を受けて生体内で機能を発揮する仕組みの構造基盤やメカニズムの解明に尽力し、数多くの新知見をもたらしました。こうした研究成果は、生命分子科学の進展に貢献するとともに、医療・創薬の重要な基盤を与えるものと評価され、この度「タンパク質の翻訳後修飾の構造生物学研究」に対して本賞が授与されました。

[日本薬学会ホームページでの掲載]

<http://www.pharm.or.jp/prize/award11.html>